

いっぺいといっぱく Vol.50



市長は長久手をどんなまちにしたいか、そのために何に取り組もうとしているのか。その想いを市長の語り口でお伝えします。みなさんと語り合うように、一緒に未来の長久手のことを考えてみましょう。また、市HP【によぜがもん】もぜひご覧ください。[市HPのトップページから「によぜがもん」をクリック。]



まちは自分達で守る

市職員は、勤務時間外に震度5強以上の地震が発生した場合、自主的に緊急登庁することとなっておりますが、阪神・淡路大震災の被災自治体のある首長から、「地震発生直後、隣人が倒れてきたものに頭を挟まれて動けない状態だった。その人を放って緊急登庁することはできなかった。」と伺ったことがあります。

市職員(短時間再雇用職員、嘱託職員、臨時職員を除く)は、472人で、そのうちの約6割は市外在住者です。夜間や休日に地震が発生した場合、道路が寸断されたり、公共交通機関が止まったりして、すぐさま市役所に到着することはできないでしょう。市内在住者も、すぐに全員が揃うのは難しいかもしれません。

地震発生直後、市役所だけでは、避難所開設等の対応はできません。そうしたときに必要になるのが、ご近所の助け合いに加え、地域に根差した自治会やシニアクラブ、子ども会、PTA、NPO、企業等の各種活動団体をネットワーク化した「まちづくり協議会」だと思います。現在、まちづくり協議会は、市民のみなさんの取り組みとして今年4月に西小学校区で設立され、市が洞小学校区、北小学校区では、設立に向けた準備が始まっています。

11月19日(日)、市内6小学校を会場として、市内一斉防災訓練が行われます。今、小学校区ごとに、自治会連合会やまちづくり協議会、区会等の地域の方々を中心に、関係機関、市民団体、企業、市職員が集まり、どんな訓練を実施するかについて、話し合っています。市内一斉防災訓練は、訓練当日に失敗なく、上手くやるのが目的ではありません。地震等の災害発生時、どんなことが問題になるのか、課題を見つけることが目的ですので、ぜひ、大勢の人に参加をお願いしたいと思います。



前回の訓練の様子

市内一斉防災訓練 11月19日(日) 午前9時 訓練開始

※詳細は、広報11月号でお知らせします。防災行政無線(サイレン)や「長久手市安心メール」で訓練を開始する情報を発信します。この機会にぜひ、「長久手市安心メール」にご登録ください。登録するには、anshin-add@ai.e-msg.jp に空メールを送信してください。QRコードを読み取るとメールアドレスが表示されます。



ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付



表紙の写真もう一枚

キッズ消防団は、市内の小学5・6年生31人を団員として、防火・防災の知識と技術を習得し、将来の消防団への入団につなげることを目的に初めて設立されました。9月3日に結団式が行われ、子どもたちは、キッズ消防団の団員として決意を新たにしていました。



スマートフォンでも視聴できます

市政情報番組「Weeklyながくて」の9月18日(月・祝)放送内容で当日の様子がご覧いただけます。

